

敬老の日に「火の用心」の贈り物 「住宅防火・防災キャンペーン」

予防課

毎年9月の第3月曜日は、長年にわたって社会に貢献してこられた老人を敬い、長寿を祝う日として「敬老の日」とされています。

近年の住宅火災の死者に高齢者が多いこと、また、今後も高齢化の進展が予想されることから、消防庁では、住宅火災から高齢者を守るため、「敬老の日」に高齢者に「住宅用火災警報器」や「住宅用消火器」または「防災品」等をプレゼントしたり、設置されている「住宅用火災警報器」の点検を代わりに実施すること等を推進する、「住宅防火・防災キャンペーン」を昨年から展開しています。

○高齢者を住宅火災から守るためには

(1) 早く知る！

住宅火災で多いのは、就寝中に発生した火災に気付かず逃げ遅れるという事例です。現在こうした逃げ遅れを防ぐために、寝室や階段に「住宅用火災警報器」を設置することが消防法で定められています。

「住宅用火災警報器」は、就寝中でも火災の発生を大きな音で知らせてくれるため、避難に時間がかかることが多い高齢者がおられる住宅には、特に確実な設置が必要となります。

また、「住宅用火災警報器」の電池の寿命は、長いもので10年ですが、短いものの中には5年や1年で切れてしまうものもあり、設置後に寿命が切れたのに気づかず、いざ火災が発生した時に作動しないということがないように、定期的に作動確認をすることが大切です。

(2) 早く消す！

万が一、火災が発生しても「消火器」を備えていれば、安全確実に消火でき、被害を最小限に食い止めることができます。

ひと口に「消火器」というと、「大きくてうちには置く場所がないなあ」と思われる方や、「重くていざというときにうまく使えないよ」と思っておられる方も多いと思いますが、なかには通常の消火器より軽くて小さい「住宅用消火器」や、女性や高齢者でも扱いやすいスプレータイプの「エアゾール式簡易消火具」というような器具も販売されています。

特に高齢者のおられる家庭には、これらの器具を備えておくことをお勧めします。

(3) 火を拡大させない！

死者が発生した住宅火災で、最も多い出火原因はたばこによるものです。なかでも寝たばこにより発生した火災で多くの死者が発生しています。また、調理中の着衣着火により亡くなる高齢者も発生しています。

このような火災による死者を減らすために、パジャマやエプロンといった衣類や、枕や布団カバーなどの寝具に、燃えにくく作られた「防災品」を使用することをお勧めしています。

また、カーテンやじゅうたんなども「防災品」であれば、万が一火災が発生しても、急激に火災が拡大するのを防ぐことができます。車やバイクのボディカバーなども同様に「防災品」を使用することが、放火による火災の拡大防止に有効です。

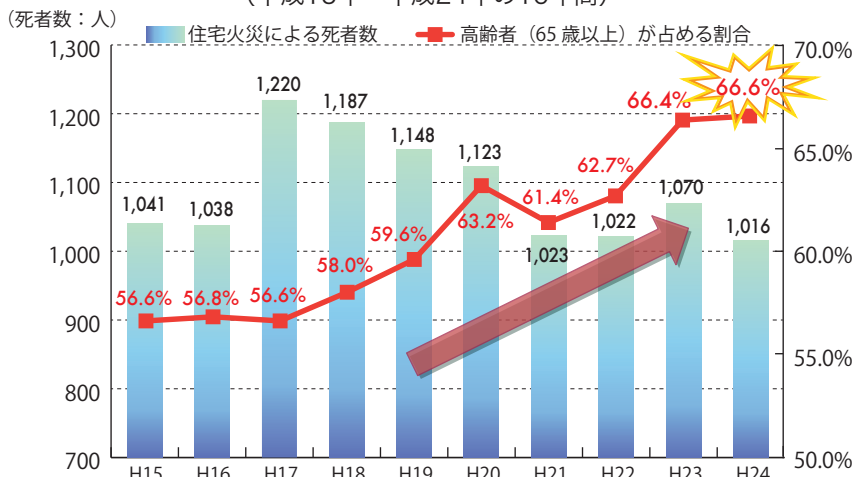
大好きな“おじいちゃん”や“おばあちゃん”が火災の被害に遭わないよう今年の「敬老の日」は、家の防火対策を考える「敬老の日」にしてみたいはいかがですか？

問合わせ先

消防庁予防課予防係 福井、増沢、大槻
TEL: 03-5253-7523

住宅火災における死者数の推移

(平成15年～平成24年の10年間)



キャンペーンポスター